

アクサ生命 「みらいをつくろう」東日本大震災復興支援 ～2014 年度の支援活動～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ジャン=ルイ・ローラン・ジョシ)は、2014 年度の東日本大震災復興支援を発表しました。

アクサ生命は、「みらいをつくろう」をテーマに東日本大震災復興支援に取り組んでいます。震災から 3 年を迎え、震災の記録を風化させることなく、経験や教訓を今後に活かし、地域社会のみらいをつくる取り組みを継続してまいります。

■ 「復興支援 1 件 1 ユーロ寄付キャンペーン」を継続

- 当社商品にご加入いただいたお客さまのご契約 1 件につき1ユーロ相当額を積算し※1、全額を寄付するキャンペーン。就学支援や減災教育等に役立てられます。

<これまでの支援内容は以下のとおり>

- 2011 年度:1,500 万円を被災地の「心のケア」を行う認定 NPO 法人「世界の医療団」に寄付
- 2012 年度:「ユネスコ協会就学支援奨学金」に 3,000 万円を寄付
- 2013 年度:「ユネスコ協会就学支援奨学金」および「アクサ ユネスコ減災教育プログラム」へ合計 3,000 万円を寄付
 - 「ユネスコ協会就学支援奨学金」は、日本ユネスコ協会連盟が被災地域の自治体の要請を受けて創設した奨学金制度。対象地域は、岩手県、宮城県、福島県。津波による家屋流失や失業、そのほかの理由によって著しく経済状況が悪化した家庭の小学生や中学生に対して、返還不要で奨学金が給付されます
 - 「アクサ ユネスコ減災教育プログラム」は、震災の経験を活かし、日本ユネスコ協会連盟とアクサ生命が共同開発したプログラム。今後、助成を希望する全国の小中学校等を公募予定

※1 一部対象とならない契約があります

■ 「アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI」の開催を通じた支援を継続

- アクサ生命が特別協賛している「アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI」を通じて、主催者のテレビ宮崎とともに、東日本大震災で被災した子どもたちの就学を支援
- 2014 年の第 2 回大会からの寄付金 1,000 万円を 3 月 5 日、宮城県に寄贈(2013 年は岩手県に 1,000 万円を寄贈)

■ 「東北六魂祭」への支援を継続

- 2014 年山形県での開催を支援
- 2011 年は宮城県、2012 年は岩手県、2013 年は福島県で開催された「東北六魂祭」を支援



<アクサレディス寄付金贈呈式の様子>

左より

宮城県知事 村井嘉浩氏

アクサ生命 代表執行役社長兼 CEO ジャン=ルイ・ローラン・ジョシ

テレビ宮崎 代表取締役社長 渡邊道徳氏



<日本ユネスコ協会連盟への寄付金贈呈式の様子>

左より

アクサ生命 仙台支社長 村石敬一

アクサ生命 東北北海道営業局長 百束則雄

(社)仙台ユネスコ協会 理事長 佐藤鎧二氏

アクサ生命 副社長 幸本智彦

日本ユネスコ協会連盟 代表代理

(社)仙台ユネスコ協会 会長 玉懸博之氏

アクサ生命 代表執行役社長兼 CEO

ジャン=ルイ・ローラン・ジョシ

(社)仙台ユネスコ協会 副会長 小野寺彰氏

アクサ生命 執行役 小笠原隆裕

アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、200 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2012 年度には、2,466 億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXA グループについて

AXA は世界 57 ヶ国で 16 万人の従業員を擁し、1 億 200 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2012 年度通期の売上は 901 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 43 億ユーロ、2012 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 1,160 億ユーロにのびります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

アクサ生命保険株式会社 広報部
電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964
<http://www.axa.co.jp/life>

東日本大震災から3年 アクサ生命の3年間の取り組み



東日本大震災から3年が経ちます。

アクサ生命は震災発生時から、お客さまや地域社会に対し、継続的に支援活動を行っています。

2011年から現在までに実施した主な活動や取り組みについてまとめました。

お客さまのために

2011年発生時の緊急支援

3月13日 被災地域のお客さまに対する特別措置を決定、ホームページを通じて公表

3月14日 福岡バックアップオフィスの開設を決定(120名の社員を福岡に配置)

⇒2012年、危機管理・事業継続部門を新設し、事業継続計画の取り組みを強化

⇒2014年、事業継続上重要な本社機能「札幌本社」(ホットサイト)を札幌市に設立

3月18日 土日のカスタマーサービスセンターの稼働を決定

⇒2012年7月、受付時間を全面拡大

(平日は2時間延長、土曜日のサービスを全面拡大)

3月22日 被災地域のお客さまに対する契約者貸付(新規貸付)の利率を引き下げ

3月24日 被災地232店舗のうち、213店舗を営業再開

4月26日 被災3県の全てのお客さま10万人に対して、お見舞い通知の発送を完了
警戒区地域内にある相双営業所を除く全営業店が業務を再開



福岡バックアップオフィス



記者会見の様相(左から:高橋北海道知事、当社副社長幸本、執行役小笠原、上田札幌市長)



陸前高田市の仮設アクサ生命事務所受付

その他
実施した取り組み

- 災害保険金等の全額支払い
- 保険料支払込猶予期間を最長9ヵ月延長
- 手続きの際に必要な書類の一部を省略するなど保険金、給付金、契約者貸付金の簡易・迅速な支払い
- 入院給付金の取り扱いを変更

地域社会のために

2011年発生時の緊急支援

3月22日 AXAグループが総額1億3千万円の義捐金の拠出を決定

〈主な拠出先〉被災した商工会議所等に約4,000万円を寄付(中小企業の復旧を支援)

●公益社団法人Civic Forceへ3,700万円を寄付(ライフラインの復旧を支援)

●世界中のAXAグループの社員が各国の赤十字社等を通じ総額3,700万円を寄付

4月1日 「がんばれ!東北!1件1ユーロキャンペーン」スタート

⇒2014年現在も「1件1ユーロ寄付キャンペーン」を継続中

※2011年は1,500万円を認定NPO法人「世界の医療団」へ寄付し、「心のケア」の活動を支援

2012年は3,000万円を「ユネスコ協会就学支援奨学金」に拠出し

名取市の中学生の高校進学を支援



仙台商工会議所を訪問するAXAグループ会長ドゥ・キャストゥルと当社社長ローラン・ジョン



その他
実施した取り組み

- 2011年、2012年「東北六魂祭」を支援
- 2012年、ルーブル美術館による被災3県への巡回展を支援
- 2013年、全国の当社管理職(約200名)が参加する「キックオフミーティング」を福島県いわき市で開催
- 2013年、2014年 東日本大震災復興支援を目的とした「アクサレディスゴルフトーナメント」に特別協賛

社員のために 予期せぬ出来事からお客さまをお守りするために…

2011年発生時の緊急支援

3月11日 危機管理・事業継続チームを発足、24時間体制で被災した社員の安否確認をスタート

⇒2012~2013年、有事の際の安否確認テスト(全社)・備蓄品の強化

3月17日 被災地にいち早くサポートチームを派遣し、食糧や必需品などの支援物資を運搬

3月21日 パリ本社から防護服422着、安定ヨウ素剤4,050錠が日本に届けられ、
原子力発電所から半径150km圏内の社員に配布



社員からも物資を支援

